

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

幼児教育および初等教育の指導者をめざす人が身に付けてほしい音楽性（Musicianship）について理解し、日本のわらべうたをベースとしながらも、多様な音楽に触れながら、学校教員、東京都教育委員会指導主事の実務経験を活かした指導を基に、音楽のしくみを体験的・系統的に学びます。

音楽はすべての人のものです（コダーイ・ソルターン）。幼児教育、初等教育において、子どもにどのように音楽に出会わせるかが重要です。そのためには、指導者が音楽とのよい出会い方をすることが肝要です。これまで、音楽は好きではあるけれども学校の音楽は苦手だった人は、改めてビギナーとして出会い直しをしてほしい、そのような願いを叶えるためにこの授業があります。そして音楽が得意ではあるけれども、よりいっそう優れた音楽性を身に付けようとする人のためにも、この授業は構成されています。

授業計画

第 1 回	ことばと音楽 生活と音楽 拍とリズム わらべうたとは Musicianship とは
第 2 回	高い・低い ことばの抑揚 「ド」と「レ」 五線の線と間 ハンドサイン
第 3 回	2拍子 小節線 スティック・ノーテーション リズム・オスティナート
第 4 回	名前呼びと音程 反復 リズム・カノン 問いと答え 音程
第 5 回	モチーフ（動機） 四分音符・八分音符・四分休符・八分休符・二分休符 カノン
第 6 回	ソルファ譜の記譜 4拍子 ことばのリズム 歌詞づくり 音楽の構成 シンコペーション
第 7 回	フレーズ 2声の合唱 クオドリベ
第 8 回	メロディ・オスティナート パート・ワーク（メロディとリズム） 簡単なメロディの創作
第 9 回	オスティナートの創作 両手のリズム モチーフの応答の創作 もの売りの声
第 10 回	ト音記号 音名と階名 16分音符 同時に鳴る音程の把握 ラ・ペンタコードと短調
第 11 回	五線への記譜 へ長調のソルミゼーション 繰り返しの強弱
第 12 回	音程 三和音 7の和音 9の和音 テンション・コード
第 13 回	ハーモニー コードネーム
第 14 回	ケイデンス（カデンツ）
第 15 回	保育・教育の実践とわらべうた 子どもと指導者の Musicianship
第 16 回	筆記試験

到達目標

- (1) 移動ド読み（階名読み）、音名読みの両方ができるようになる。
- (2) 音楽へのアプローチの仕方がわかる。
- (3) 簡易譜、五線譜の読譜・記譜ができる。
- (4) 子どもと指導者の Musicianship について理解している。

履修上の注意

- ・最終的な目標は単純ですが、覚えること、身に付けることが数多くあります。そのため、休まないことが何より肝要です。
- ・心身の健康に留意し、マスクにより乾燥やウィルスから喉を守り、声を常によい状態に保ちましょう。

予習・復習

- ・テキストに沿って進めます。予習よりも復習を大切にしてください。授業で扱った曲は何度も歌ったり聴いたりして覚えましょう。

評価方法

- ・音楽のリスニング、読譜、記譜を含む筆記試験 80%、授業への参加姿勢（毎回の授業での演奏） 20%

テキスト

- ・教科書名：おんがく1 おんがく2 おんがく3
- ・著者名：コダーイ芸術教育研究所
- ・出版社名：全音楽譜出版社
- ・出版年（ISBN）：9784116000215 9784116000222 9784116000239